

日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなる

2017年1月20日
第215号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

日本の政治 新時代へ 市民と野党のスクラムで



2017年1月
金銅鳳凰彫文 正徳院

再稼働やめ
原発から撤退を!!

第22回 植田和子議会報告会

日時 2017年 1月29日 (日)
10時~12時
場所 江戸川台東自治会館

新年初の議会報告を行います。
18万人を越えた流山市の今後や
ニュースに載せきれなかった議会の
様子などお話しします。
ご家族お友達お誘い合わせて
おいでください。入場無料です。

日本共産党 新春のつどい

人口18万人を越えた流山市が、子育てどうする
など問題山積の中、1月
14日、生涯学習センター
で「日本共産党 新春の
つどい」を行いました。

新年おめでとうございます。
戦争法廃止を求める国民的うねりは、野党と市民の共闘に発展し、昨年の参議院選挙では、全国32の1人区すべてで野党統一候補を実現し、山梨県をはじめ11選挙区で接戦を制して勝利を勝ち取ることができました。
私たちは1月に3年ぶりの党大会を開きますが、この3年間で日本の政治の対決構図は、「自共対決」から「自公と補充勢力」対「野党と市民の共闘」という新たな段階に発展しました。この流れをさらに発展させ、安倍自公政権を打ち倒し、野党連合政権を実現するために全力を尽くします。
早期の解散・総選挙は極めて濃厚です。みなさんのいっそうのご支援を心からお願ひし、新年の決意とご挨拶とします。
日本共産党委員長・衆議院議員 志位 和夫

明けましておめでとございます。
後援会「ニュース」読者の皆さまの日頃のご支援に感謝申し上げます。
この先歴史を前に進める本流と、それに逆らう流れがぶつかり合う激動のなかでの年明けです。
今、強権政治と暴走をますます強める安倍内閣に対して、これに対決する野党と市民の共同のうねりが、広がりを見せています。
今年7月、日本共産党は創立95年を迎えます。その先駆性と不屈性を引き継ぎ、大胆な決意で野党の共同を呼びかけ、歴史的情勢を切り開いています。これをさらに進め国民の願いに応える政治実現のため、ともに頑張りましょう。今年もよろしくお願ひいたします。

ごぶし後援会 小倉 卓郎
あすなる後援会 菊池 伍郎

市内各地で「おめでとう宣伝」

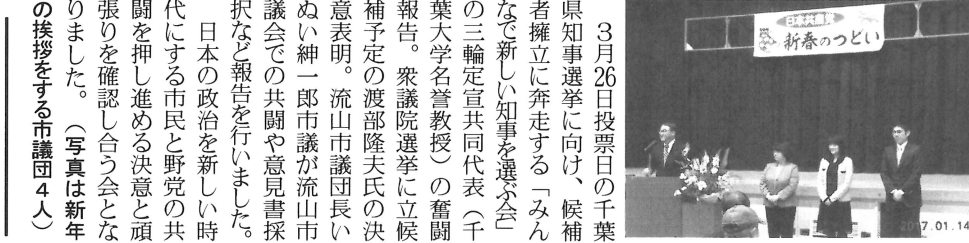


新年1月3日
日本共産党流山
カドヤ前で訴える植田和子市議

市議団は市内各所を回り新年の「おめでとう宣伝」を行いました。
この地域では、政策などは、東のカドヤ前を車で流した後、江戸川台で通行中の方やお買い物のカドヤ前で訴えをしま

植田和子市議は、「沖縄県名護市でのオスプレイの墜落事故が、この流山市にも無関係でなく、陸上自衛隊の木更津駐屯地がオスプレイの定期整備拠点化が進められている。また、市議会でも日本共産党が提出した『オスプレイの県内配置に反対する意見書』が賛成多数で可決した」ことなどを訴えました。

いま、なぜか世界中で人々が情動的になっている。オックスフォードの辞書にポスト・トゥールース post-truth などという言葉が載せられた。真理や真実は棚上げで、繰り返しの感情に訴えるという大衆操作の政治手法である▼トランプが筆頭だが、イギリスのEU離脱も世界を驚かせた。また、ドイツやフランスなど西欧各国での極右の進出、麻薬撲滅のために違法に殺人をして高く、民が熱烈に支持しているというフイリピンの大統領。他国ばかりではない。日本の安倍首相は五輪招致でさえあからさまなウソをつき、経済政策が破たんしても恥じないが、支持率は高い▼世界のリーダーがこんな形で人々を操っている時代。理性の崩壊とも言おうか、人類はホモサピエンス「知恵ある動物」だと誇りを持ってきたはずだが、いま危機にあるとさえ感じる▼まるでスポーツ観戦で味方を応援するのとき、集団的なファンの心理に似た情熱が支配する。世の中の行き詰まりに人々が出口を求め結果だともいわれる。戦争はダメだと理性は訴えるが大丈夫か？



3月26日投票日の千葉県知事選挙に向け、候補者擁立に奔走する「みなんで新しい知事を選ぶ会」の三輪定宣共同代表(千葉大学名誉教授)の奮闘報告。衆議院選挙に立候補予定の渡部隆夫氏の決意表明。流山市議団長いぬい紳一郎市議が流山市議会での共闘や意見書採択など報告を行いました。
日本の政治を新しい時代にする市民と野党の共闘を押し進める決意と頑張りを確認し合う会となりました。(写真は新年の挨拶をする市議団4人)

2017年1月1日
新年 明けまして おめでとうございませう
2017年の幕開けです。昨年も大変お世話になりました。みなさんのお力で、流山市議会に送り出して頂いてから早いもので、ナント、6年が過ぎようとしています。この6年間、国政も市政も、本当にめまぐるしく変化し、あつという間で、いつでもどんなときでも変わらぬ、植田和子を支えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。いっしょに頑張る安倍政権には、何としても退場してもらわなければなりません。総選挙が安倍政権の暴走を止める絶好のチャンスです。野党共闘の前進と日本共産党の躍進で、誰もが人間らしく生きられる社会へ、みなさんと一緒に力を合わせて守る年にしましょう。今年もよろしくお願ひを動かしませんでした。
植田和子

ヘッドライト
ポスト・トゥールース
違法に殺人をして高く、民が熱烈に支持しているというフイリピンの大統領。他国ばかりではない。日本の安倍首相は五輪招致でさえあからさまなウソをつき、経済政策が破たんしても恥じないが、支持率は高い▼世界のリーダーがこんな形で人々を操っている時代。理性の崩壊とも言おうか、人類はホモサピエンス「知恵ある動物」だと誇りを持ってきたはずだが、いま危機にあるとさえ感じる▼まるでスポーツ観戦で味方を応援するのとき、集団的なファンの心理に似た情熱が支配する。世の中の行き詰まりに人々が出口を求め結果だともいわれる。戦争はダメだと理性は訴えるが大丈夫か？

